衛星データ活用で「考える根っこ、考える翼」を！
ーさあ、衛星データを身近にー

先にお届けした資料やデータは確認されましたか。

「おや」
「まあ」
「ふーん」等…　頭にうかんだでしょう

1月28日には、八郎潟のデータを例に、衛星データ分析の具体を説明します。衛星データ分析の背景を学びましょう。
その後、今回お届けする諸データで演習しましょう。

今回お届けするデータ

福島SSH本番データ

- 0 「衛星データの学び」参考資料
- 1 基本演習
- 2 農園を例に
- 3 アスワンハイダム
- 4 三峡ダム
- 5 火山
- 6 アマゾン
- 7 標高データ
- 8 昭和基地と「しらせ」
- 9 ひまわり
- 10 Jeju Island
- 11 Search of the native district

＊ 『0 「衛星データの学び」参考資料』群のファイル名は「8」で始まる枝番号にしてあります。

福島SSH予習データ

- 10 Landsat 8
- 11 hatirougata de
- EISEI

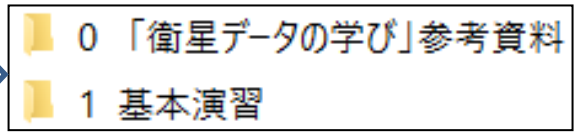
先にネット経由でお届けした予習データ

＊ 先にお届けした「その1」と、本送信データを1月28日に使用するパソコンのディスクトップにおいてください。

GoogleDriveを通してデータをお届けします

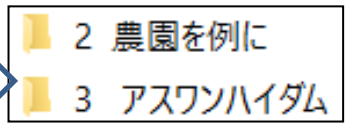
https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFalR5QlJTcGJqYUk/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-1.zip



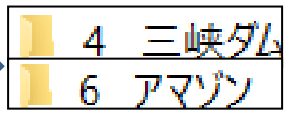
https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFc3psSFJUWHV5eUk/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-2.zip



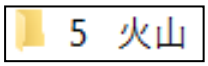
https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFckdhLW12cFUza1E/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-3-1.zip



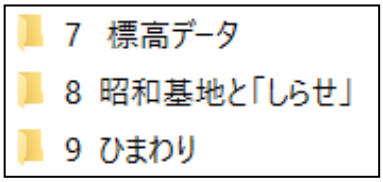
https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFNkJXeXdZWDJQbUk/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-3-2.zip



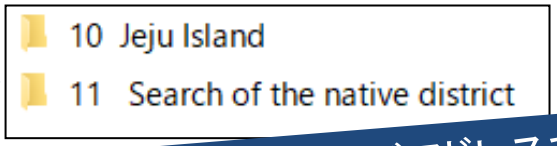
https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFbVRoR216S3FCNFE/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-4



https://drive.google.com/open?id=0B5p8sOITMc5aQjVqSG4wVjR0RHM

fukushimaSSH-2.zip



＊青字がGoogleDriveのダウンロードアドレスです

各アドレスを「Ctr」キーを押しながらクリック
そしてダウンロード

＜「fukushimaSSH1-1.zip」＞のダウンロード

①インターネット環境で、クリック

GoogleDriveを通してデータをお届けします

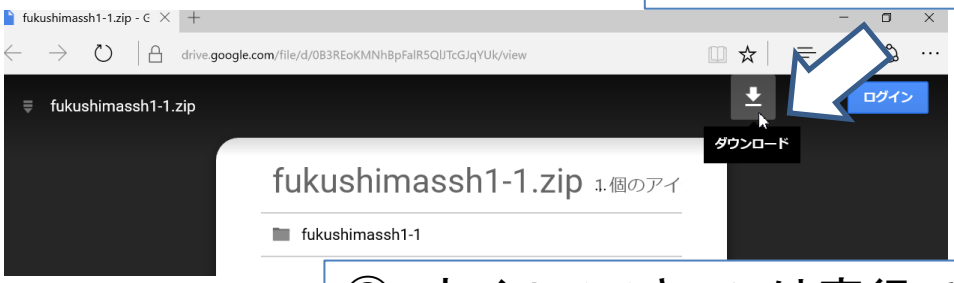
https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFalR5QlJTcGJqYUk/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-1.zip

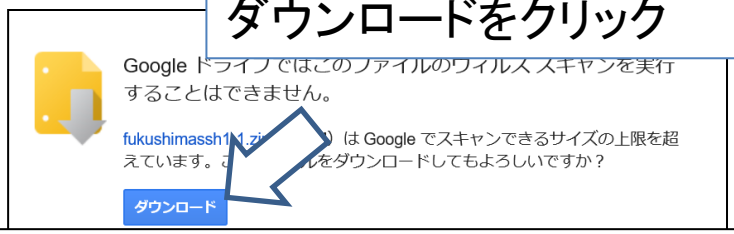
0 「衛星データの学び」参考資料

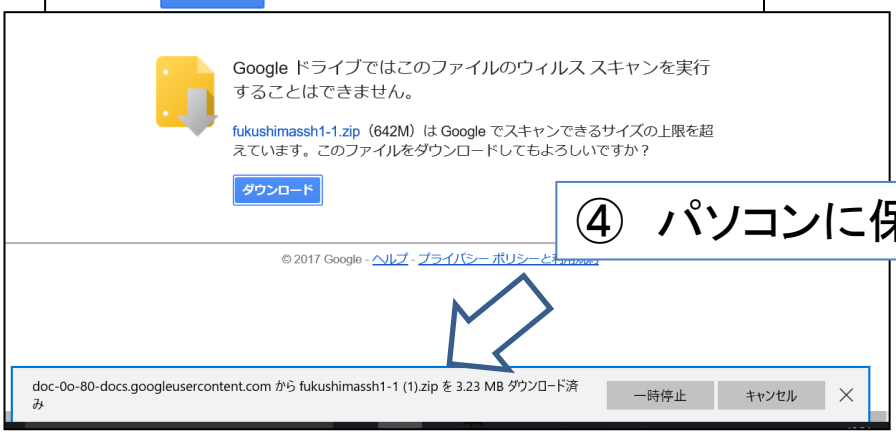
1 基本演習

②ダウンロードをクリック



③ ウイルススキャンは実行できませんがダウンロードをクリック





④ パソコンに保存します

⑤ データは**大きい**ので、ダウンロードには**長時間**かかります

⑥ ダウンロードしたデータは圧縮してあります。 解凍してください

「fukushimaSSH1-3-1.zip」「fukushimaSSH1-3-2.zip」の場合も同様です

＜「fukushimaSSH1-2.zip」＞のダウンロード

https://drive.google.com/file/d/0B3REoKMNhBpFc3psSFJUWHV5eUk/view?usp=sharing

fukushimaSSH1-2.zip

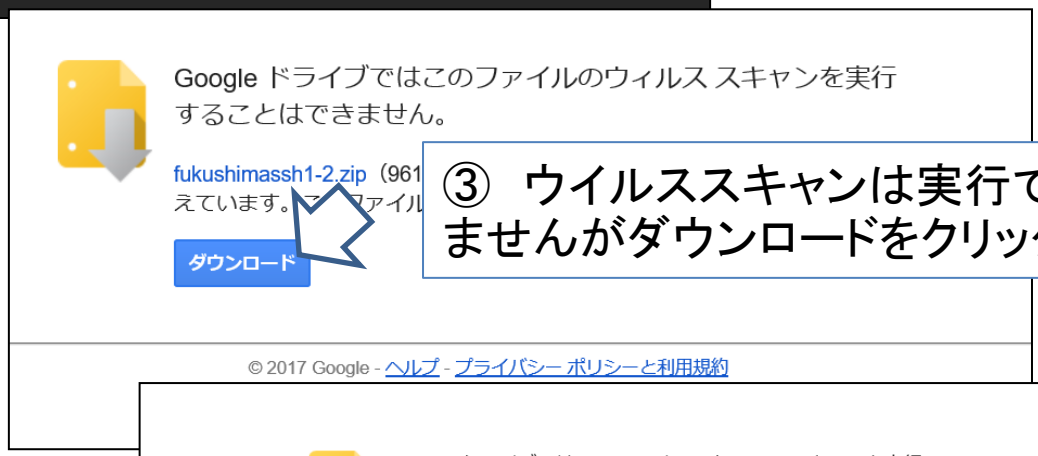
2 農園を例に

3 アスワンハイダム

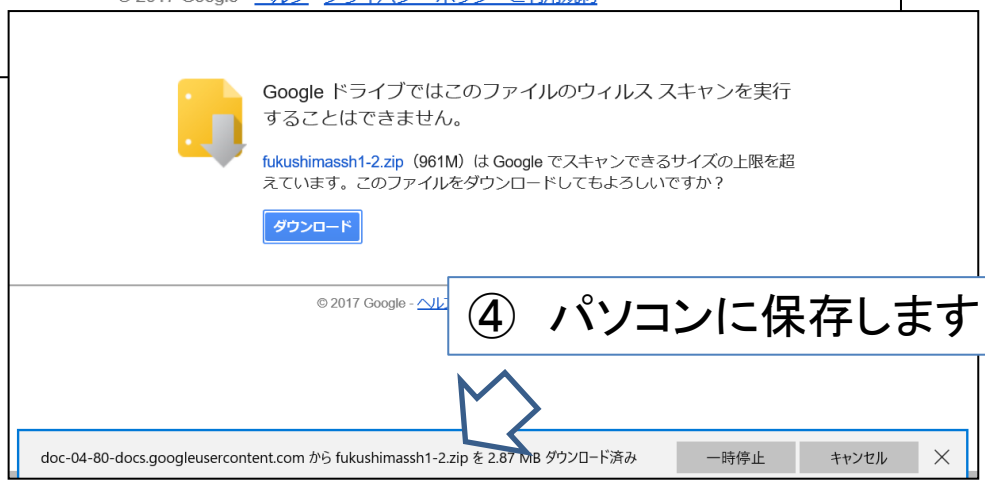
①インターネット環境で、クリック

② エラー表示に関わらずダウンロードをクリック

「fukusima1-1」の場合とは異なる表示です



③ ウイルススキャンは実行できませんがダウンロードをクリック



④ パソコンに保存します

⑤ データは**大きい**ので、ダウンロードには**長時間**かかります

⑥ ダウンロードしたデータは圧縮してあります。 解凍してください

「fukushimaSSH1-4.zip」「fukushimaSSH-2.zip」の場合も同様です

6つのフォルダーをダウンロードし解凍したら、1つのフォルダーにまとめてください。

作業が終了したら、次のような一覧表になります

- EISEI
- 0 「衛星データの学び」参考資料
  - 8-1 ウエブサイト紹介
  - 8-2 参考　ASTERデータから疑似トゥルーカラ...
  - 8-3 参考　色合成時の手元便利表.pdf
  - 8-4 参考　パスとロウ　ランドサット観測カレン...
  - 8-5 参考　「土地利用例」を例に連番をつな...
- 1 基本演習 → 1-1 Landsat8 / 1-2 pann.tif / 1-3 標高データ　—...
- 2 農園を例に → 1 砂漠の農園 / 2 カンサス州の農園
- 3 アスワンハイダム → 161016Landsat8 / ダム周辺標高.tif
- 4 三峡ダム → 160228Landsat8 / 870417Landsat5 / ダム周辺標高データ.tif
- 5 火山 → 1 ニアムラギラ火山 860719 Landsat5 / 2 キタウエラ火山 910723 Landsat5 / 3 カムチャッカ半島の火山 131207 Landsat8 / 4 西ノ島
- 6 アマゾン → 140620 ALOS 2 / 140823 Landsat8 / 900922 Landsat5
- 7 標高データ → 福島周辺 ASTGTM2... / 十和田湖横断N40.tif
- 8 昭和基地と「しらせ」 → 1月5日 / 1月12日
- 9 ひまわり → 140301 日本周辺 / 140711 HIMAWARI+Landsat8
- 10 Jeju Island → Jeju Island (altitude) / Jeju Island(Landsat8)
- 11 Search of the native district → 150712 Landsat8 / 150806 Landsat8

8-1 ランドサットデータ等
- 8-1-1 産総研　AIST.pdf
- 8-1-2 産総研サイトマニュアル.pdf
- 8-1-3 産総研サイト私的説明.pdf
- 8-1-2 Libraサイト.pdf
- 8-1-3 USGSあ（米地質調査所）サイト.pdf

8-1-3 ひまわり８号データ.pdf
- 8-1-2-1 eorc.jaxaサイト.pdf
- 8-1-2-2 USGSサイト.pdf

1 砂漠の農園
- 160116
- 160304
- 160710
- 161018

＊「160116」
→16年1月16日

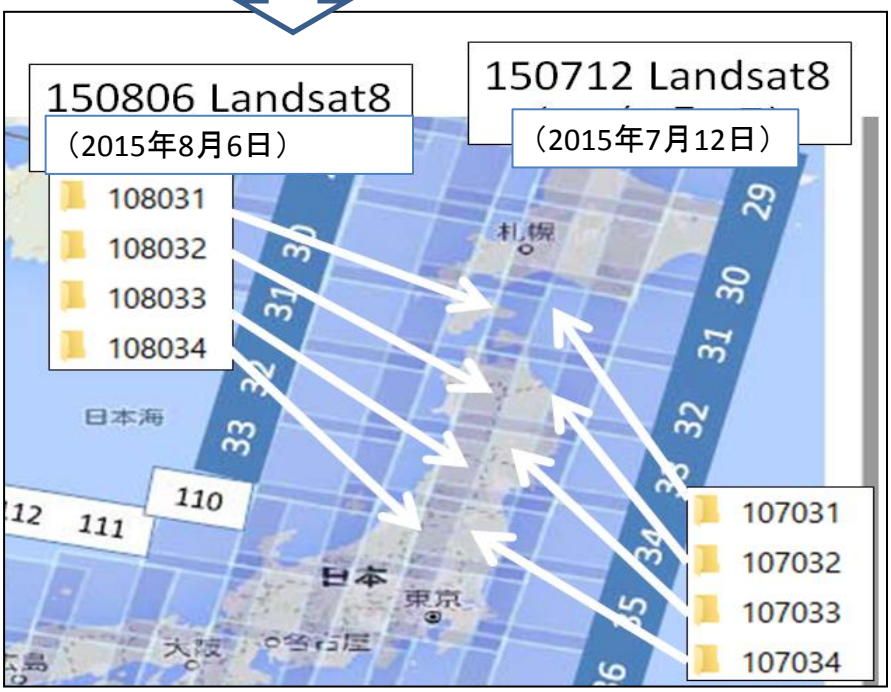
1 ニアムラギラ火山 860719 Landsat5
- 030425Landsat7
- 131224Landsat8
- 140418Landsat8
- 140704Landsat8
- 140821Landsat8
- 161029Landsat8

HIMAWARI / Landsat8
- 「B01」を例に
- バンド盤

＊15年7月11日同時刻　上海沖
ランドサット8とひまわり8データ

＊済州島のランドサット8
と標高データ

＊好天時の東北地区のランドサット8データ



使用するデータについて

ランドサットデータは米地質調査所（USGS）から提供を受け、提供元のデータ配布ポリシーに基づき再配布しています。

Landsat L1T data produced by the U.S. Geological Survey

説明に使用する「だいち」、「だいち2号」関係のデータ･資料はJAXAから提供されています。だいち2号の観測データは、JAXAウエブサイトのサンプルプロダクトも使用しています。

標高データは「DSM」とASTER GDEM http://gdem.ersdac.jspacesystems.or.jp/index.jsp）で得られたデータです。ASTER GDEMはMETI/NASAに帰属します。

「DSM」に関しては、利用規約に次の記載があります。

・本データセットを用いた製品やサービス等を第三者へ提供・公表する際には、JAXAが原初データの提供者である旨を表示してください。

・ 本データセットを利用した成果を公表する際は、データの出所と著作権 (©JAXA) を表示してください。

ひまわり8データは、ひまわり衛星データアーカイブシステムを利用しています。NICTサイエンスクラウドWebページ経由のデータです。

NICTサイエンスクラウドを利用して得られた研究成果は、NICTサイエンスクラウド利用による研究成果である旨を謝辞として発表、論文等に必ず記載することが必要です。

NICTサイエンスクラウドデータの利用は非営利目的（研究・教育目的）に限定されています。ひまわり衛星データアーカイブでは利用申請は不要です。

NICTサイエンスクラウドは、情報通信研究機構（NICT）が構築した科学研究専用のクラウドシステム。気象庁との協力により、ひまわり衛星データの公開を行っています。

＊ NICT →情報通信研究機構（NICT: National Institute of Information and Communications Technology）

産総研LandBrowserユーザガイド（Ver. 2.0　2016年8月1日）には次の記載があります。

（1）LandBrowserからダウンロードしたLandsat-7/8 画像ファイル：

有償・無を問わず自由に再配布可能。ただし利用の際以下クレジット表示を付加する。

The source data were downloaded from AIST 's LandBrowser,
Landsat 7/ 8 data 8 data 8 data courtesy of the U.S. Geological Survey.

（2）LandBrowser上で表示される画面のLandsat-7/8のスナップショット

有償・無償を問わず自由に再配布可能。ただし利用・再配布の際に以下のクレジット表示を付加する。

Image produced and distributed by AIST, Source of Landsat7/8 data: U.S. Geological Survey."

（3）LandBrowserからダウンロードしたASTERの画像

有償・無償を問わず自由に再配布可能。ただし利用・再配布の際に以下のクレジット表示を付加する。

Citation: ASTER-VA image courtesy NASA/METI/AIST/Japan Spacesystems, and U.S./Japan ASTER Science Team."

多くの衛星データ等使用できますことにについて関係諸機関に感謝申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします

ネット経由でデータをお届けしますが、ネット環境によってはダウンロードが困難な場合も考えられます。私の担当させて頂く場面は、パソコン操作を前提としています。そこで、近々郵送便でUSBメモリー経由でも関係データをお届けすることにしました。

＊　分析ソフト「EISEI」は、Windows環境でのみ稼働します

1月28日に、「こむこむ」で皆様にお会いするのを楽しみにしています。
どうぞよろしくお願いいたします。

臼井　敏夫